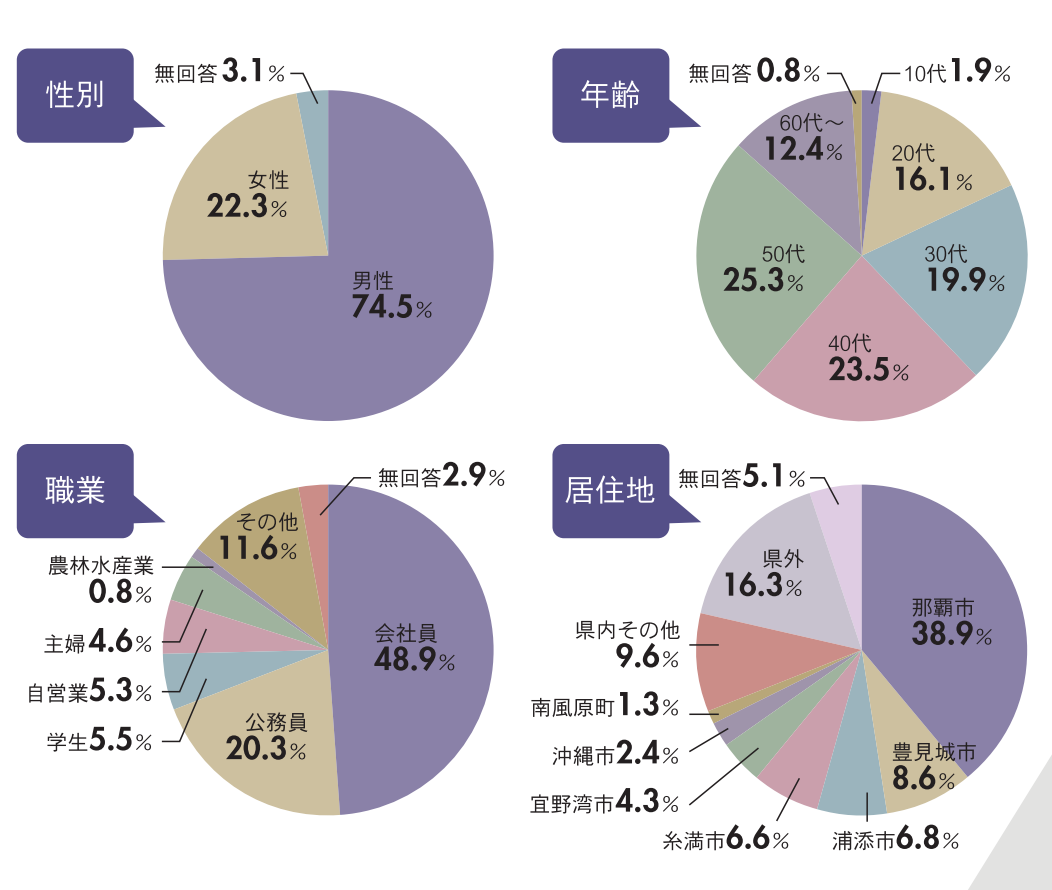


●アンケートに回答した県民等（図表3）

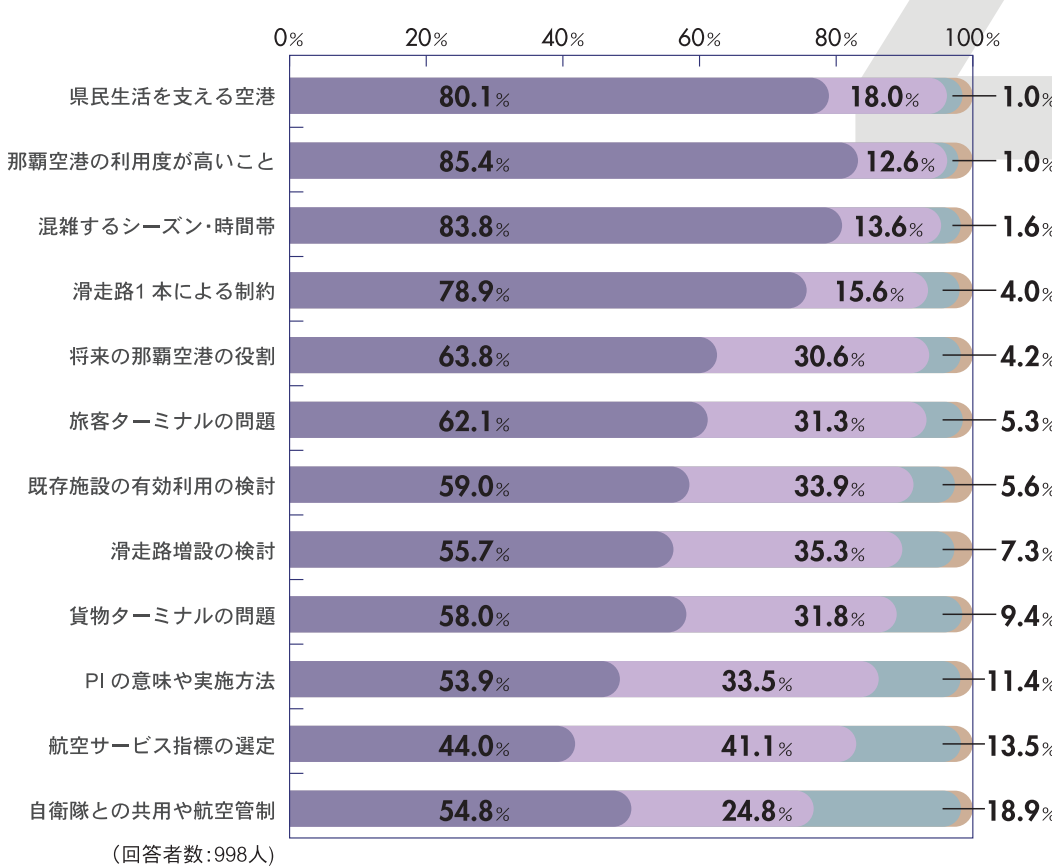


●各イベントの参加者、調査報告書を受け取った県民等を対象に、調査報告書の内容に関する理解度について

3 P-I活動（ステップ1）の結果について
アンケートに回答した県民等

アンケートを実施しました。
アンケートについて九百九十八人の県民等から回答が得られました。構成は図表3のとおりです。
性別には、幅広い年代から回答が得ることができました。

●P-I活動の理解度調査結果（図表4）



報告書の理解度

●アンケート調査の結果、要点の全てにおいて「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人の比率が約八割以上でした。（図表4）

■理解できた
■ある程度理解できた
■よく分からない
■無回答

●P-Iの基本的なすすめ方（図表1）



那覇空港の総合的な調査は、那覇空港の「施設の再配置による既存ストック有効活用方策」「滑走路増設等を含める抜本的な空港能力向上方策」に関して平成十五年度から国（内閣府沖縄総合事務局・

国土交通省大阪航空局）と沖縄県の三者で役割を分担しながら調査を行っています。今回実施したステップ1は、平成十五・十六年度の調査結果をとりまとめたものです。

開発建設部

那覇空港の総合的な調査（ステップ1）の実施

「那覇空港の現状、課題、将来像等について情報の共有を図る」

1 調査（ステップ1）の実施について



特集4

2 P-I活動（ステップ1）の実施状況について

今回実施したステップ1は、那覇空港の現状や役割、課題等についてP-I（P13参照）を行いました。

平成十七年八月一日～九月三十日の二ヶ月間実施しました。主な、P-I活動の実施状況は図表2のとおりです。
また、これらの活動に先駆け、新聞広告やポスター掲示及び県政広報テレビ（うまんちゅ広場）・行政広報誌・ホームページ等での周知を行いました。

●P-I活動の実施状況（図表2）

手法	参加者（延べ）資料配付	備考（実施回数等）
資料配付 32,012部	調査報告書 5,550部	●行政機関の公共施設での配布 ●各種団体、関連事業者への配布 ●説明会、オープンハウス等での配布
	調査報告書（概要版） 26,462部	●行政機関の公共施設での配布 ●各種団体、関連事業者への配布 ●説明会、オープンハウス等、観光イベント（民間）での配布
イベント 977人	オープンハウス 652人 （配布7,393部）※	●6カ所（PI開始式会場、県庁、那覇市・豊見城市・糸満市役所、那覇空港） ●延べ35日
	説明会 325人 （配布1,230部）※	●6カ所（那覇市内） ●計7回
ホームページへの情報掲載	約16,000アクセス	●8/1～9/30 ●那覇空港調査連絡調整会議（県、沖縄総合事務局、大阪航空局）のホームページ

※各会場で配布した調査報告書、概要版の部数



▲開始式（バレット久茂地前で報告書配布）



▲市民説明会



▲オープンハウス（県庁1Fホール）

アンケートの自由回答欄意見について

●アンケートについては、理解度を求める項目の他、自由回答欄を設定しました。
●全アンケート回答者(九百九十八人)のうち四百九十九人の県民等から自由回答欄へ意見を頂きました。(説明会等での意見も含む)

●四百九十九人の意見をその内容により分類した結果、六百九十七件の意見になりました。
●寄せられた意見について大きく六つに分類し、さらに十六項目に分類しました。(図表5)

●自由回答欄に寄せられた意見(図表5)

意見の内容	意見数
PIの取組みに関する意見 134(19.2%)	①調査報告書に関する意見 77 (11.0%) ②PIの進め方に関する意見 57 (8.2%)
那覇空港の現状・課題等に関する意見 312(44.8%)	①混雑や遅延等に関する意見 25 (3.6%) ②旅客ターミナルビルに関する意見 130 (18.7%) ③貨物ターミナル地区に関する意見 19 (2.7%) ④自衛隊との共同利用に関する意見 71 (10.2%) ⑤嘉手納ラブコン等に関する意見 10 (1.4%) ⑥航空輸送の安全性を求める意見 6 (0.9%) ⑦騒音問題に関する意見 4 (0.6%) ⑧その他利便性向上に関する意見 47 (6.7%)
那覇空港の将来像に関する意見 39(5.6%)	①将来像に関する意見 26 (3.7%) ②航空路線網に関する意見 13 (1.9%)
需要予測及び空港能力の見極めに関する意見 34(4.9%)	①能力の見極めに関する意見 25 (3.6%) ②需要予測に関する意見 9 (1.3%)
滑走路増設に関する意見	156 (22.4%)
その他の意見	22 (3.2%)
合計	697 (100.0%)

●寄せられた主な意見と意見に対する考え方(図表6)

意見の分野	主な意見	意見に対する考え方
PIの取組みに関する意見	●内容を充実すべきという意見	今後作成する調査報告書については、誤解を招く記述や情報の不足がないよう注意し、また文章表現等を工夫するなど、より理解しやすいものとなるよう努めてまいります。
那覇空港の現状・課題等に関する意見	●旅客ターミナルビルに関する意見 ●国際線旅客ターミナルビルの利便性向上を求める意見	将来的な課題については、今後の調査の中で検討してまいります。また今回寄せられた意見のうち現状で対応可能なものについては、関係機関と調整を図り、利便性向上に努めてまいります。
那覇空港の将来像に関する意見	●将来像に関する意見 ●東アジア地域の拠点空港としての整備を求める意見	国際交流・協力の拠点の形成や県民生活の安定向上など沖縄振興計画で描かれた将来像の実現に向け、那覇空港が十分な機能を発揮できるよう、今後の調査において検討してまいります。
需要予測及び空港能力の見極めに関する意見	●能力の見極めに関する意見 ●既存施設の有効活用に関する意見	今後、将来の人口などを考慮した需要予測を実施し、既存施設の有効活用方策を検討した上で、サービス指標を用いた空港能力の見極めを行ってまいります。
滑走路増設に関する意見	●滑走路増設に積極的な意見	需要予測及び空港能力の見極めの検討結果を踏まえ、環境、経済性などの面も含め多角的に検討してまいります。

寄せられた主な意見と意見に対する考え方

4 ステップ1に対する那覇空港調査
PI評価委員会からの
主な評価・助言

第三者機関である那覇空港調査PI評価委員会において、次のような評価、助言を頂きました。(概略)

- 新聞の情報提供内容を見ると、情報を詰め込みすぎ。
- どのような情報をいつ、どこで、どのように伝えるかという戦略が必要。
- 女性の参加が4分の1に留まっている。今後工夫が必要。
- 資料を配布した部数をもって周知したと判断している。
- 広報誌が一番効果的であった。
- アンケートの手法でこれだけの自由意見が出たのは評価できる。
- 4つの評価の視点に基づいたPI実施主体の自己評価については、概ね妥当と考えられる。

5 P1ステップ1の
終了について

●PI実施計画に基づくPI活動の実施と、マスメディアを活用する等の周知・広報活動の強化に努めた結果、幅広いPI対象者の理解が概ね得られたと考えます。

●また、寄せられた意見についても、これらに対する対応を概ね整理できたと考えます。

●以上から、那覇空港の現状、課題、将来像等について情報の共有を図るというP1ステップ1の目標は、達成できたと考えます。

●以上のことから、那覇空港の現状、課題、将来像等について情報の共有を図るというP1ステップ1の目標を達成したと判断し、P1ステップ1を終了することとします。

パブリック・インボルブメント(PI)とは

一般的には、政策決定や公共事業の計画策定において、国民や地域住民の方が意見を表明できるような場を設け、寄せられた意見を計画に反映するものです。
【公衆(Public)を巻き込む(Involvement)】

詳細につきましては、ホームページでも閲覧できます。

●内閣府沖縄総合事務局港湾空港建設課

URL: <http://www.dc.ogb.go.jp/Kyoku/information/nahakuukou>

●YAHOO!にて「那覇空港の総合的な調査」でも検索できます。

4つの評価の視点

- 1 P1活動は、適切に行われたか
- 2 提供した情報が周知されたか
- 3 提供した情報が理解されたか
- 4 幅広く意見を収集し、それらへの対応を示しているか